

# みやこんじょ



No.68

発行日 令和4年8月1日

発行 独立行政法人国立病院機構

都城医療センター

宮崎県都城市祝吉町5033番地1

TEL 0986-23-4111

**基本  
理念****高度で良質な医療を提供し、病む人々が安心し、信頼できる病院をめざします**

## 診療科の紹介（呼吸器外科）



統括診療部長  
富田 雅樹



呼吸器外科医師  
加藤 文章

国立病院機構都城医療センターは地域がん診療拠点病院であり、宮崎県南部において呼吸器外科治療が可能な数少ない施設です。

診療内容は肺癌を初めとする胸部の様々な悪性腫瘍、気胸や膿胸などの良性疾患に対する外科治療が中心ですが、その他に胸部外傷などにも対応しています。

診療科の体制は令和4年8月現在スタッフ2名（富田、加藤）に加え、症例に応じて福岡大学呼吸器外科関連施設から非常勤医師を招いて手術を行い、地域内での治療完結に努めています。近年、低侵襲な内視鏡手術が広く知られるようになり、当科でも大部分の症例に対して胸腔鏡手術を行っております。また昨年から、肺癌領域においては最も低侵襲な手術である「単孔式胸腔鏡手術」にも積極的に取り組んでおりますが、過度な低侵襲にこだわる事なく「安全で確実な手術実施」に努め、「患者さんの予後を改善する事」を第一義としています。

また手術のみならず、手術適応のない進行癌に対する化学療法や放射線治療などについても、他科と

連携して治療にあたっています。また可能な症例については外来通院で化学療法を実施し、がんと共存しながら日常生活を維持できるような支援にも努めています。

外来診療は火・木・金（午前のみ）で、初診時は原則として紹介状が必要ですが、外来日以外や夜間でもオンコール体制を整えて可能な限り対応しています。

検査は気管支内視鏡、CT、MRI、骨シンチなどを駆使し、また補助検査として連携病院にPET-CTなども依頼して診断精度向上を目指しています。得られた検査結果をもとに内科医、放射線科医と共に週一回の呼吸器カンファレンスで症例検討を行い、診断から治療までをスムーズに行えるように心がけています。

今後も宮崎県南部地域により良い医療を提供するべく、他基幹施設や地域の先生方のご協力を仰ぎながら一層努力して参りたいと考えていますので、今後ともよろしくお願いいたします。

## 新型コロナウイルス感染症患者対応業務を終えて

3病棟 看護師 川野 亜夕実

新型コロナウイルスの拡大に伴う、医療現場の逼迫の為、令和4年2月18日より1か月半の間、診療機能強化型宿泊療養施設（スマイルホテル大阪）で勤務をさせて頂きました。一般のホテルを医療施設として運用する、前代未聞の取り組みであり、取り組み自体も急に決定したことであったため、勤務初日はマニュアルも十分に出来ておらず、右も左も分からない状況でした。入院設備の整った病院とは異なるため、患者の安全を守りながら、医療処置や看護を行うことの難しさを感じました。ベッドからの転落を防止するための柵がないため、頻回の訪室で患者の状態を確認したり、ガーグルベースや楽のみがないため、食事の空き容器で対応したりと様々な工夫を凝らして対応しました。ゼロからすべてを作り上げることが、新鮮な経験であり、自分が普段行っている看護を振り返るいい機会になったと感じています。また、全国から経験年数も、勤務している科も違う看護師と一緒に、業務や看護の改善点について考えることが自分にとって良い経験となりました。自分より先輩の看護師が多い中で、自分の意見が採用されたり、先輩看護師と対等に意見交換が出来たことが、自分の看護師としての自信にも繋がりました。加えて、他の看護師から様々な意見を聞いたり、他の病院ではどんな看護をしているのかを聞いたことも良い刺激になりました。最後には、今後同じような状況になってもス

ムーズに運用出来るよう、スタッフ全員でマニュアルを作成しました。1か月半で自分たちが積み上げたものが、今後の基礎になると思うと、とても嬉しく思いました。初めは不安でいっぱいでしたが、これらの貴重な経験が、自分の看護師としての大きな糧となりました。この経験を、今後の自分の看護に活かしていければと思います。



2病棟 看護師 永迫 里奈

令和4年4月17日から2週間、大阪府が管理する診療機能強化型宿泊療養施設（スマイルホテル大阪）で新型コロナウイルス感染症患者対応業務に従事しました。

軽度から中等度の患者の診療の補助や診察後の観察、感染に伴う不安の軽減、限られた環境下での日常生活援助を実施しました。大阪府や保健所との連携を図り、病院業務では経験できなかった感染管理を学ぶことができました。HER-SYS（新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理システム）やセールスフォース・ドットコムにおける新型コロナ保健所業務支援クラウドパッケージ等、電子化による感染管理を行うなかで、入院療養だけではない感染症患者の支援体制について知る事ができました。2月中旬に立ち上げた施設で、手探りの業務もありましたが、電子カルテマニュアルの作成に携わることができ、貴重な体験となりました。宿泊療養施設の業務の従事には、NHOやJCHO所属以外に、大阪府看護協会からの派遣看護師もおり、短期的に複数の施設で軽症から重症の感染症患者対応業務に従事した経験や、病院勤務を辞めた後の働き方など、様々な経歴の看護師との関わりの中で多様な働き方に触れることができました。社会に目を向け情報収集すること、興味のある分野には自ら進んで経験を積むこと、院外の同職種と交流を持つことの必要性を実感し、新卒から当院のみでキャリアを積んでいる私にとっては今後の看護師人生を考える上で良い刺激になりました。宿泊型療養施設における看護、感染管理の学びから、院内のみならず地域医療における感染症拡大防止のために、今後自分がどのような看護活動で貢献できるのか考えていきたいと感じました。

## 永年勤続表彰



氏名：田上 孝二

職名：経営企画室長

30年表彰をうけて：おかげさまで勤続30年を迎えることができました。「誰かの役に立ちたい」という初心を忘れず頑張っていきます。

● ● ● ● ● ● ● ●

氏名：神野 美子

職名：看護学校教員

30年表彰をうけて：多くの方との出会いが刺激となり、ここまで勤めることができました。ありがとうございました。

● ● ● ● ● ● ● ●

氏名：津曲 久美枝

職名：看護師

30年表彰をうけて：勤続表彰を頂き、今まで支えて下さった上司、スタッフの皆さん、そして家族に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも自分ができることを頑張っていきたいと思います。

● ● ● ● ● ● ● ●

氏名：和田 さつき

職名：看護師

30年表彰をうけて：表彰があるよと聞かされてびっくりした自分です。もう30年も？と実感がわかないまま授与していただきました。大きなケガや病気を患うこともなく健康で働けたことに感謝してこの後もがんばっていきたいと思います。ありがとうございました。

氏名：田中 郁代

職名：4病棟看護師長

20年表彰をうけて：あっという間の20年だと感じました。表彰ありがとうございました。

● ● ● ● ● ● ● ●

氏名：藤内 千夏

職名：医療安全管理部看護師長

20年表彰をうけて：多くの方の支えがあり20年を迎えることができました。今後も都城医療センターのちからとなれるよう精進して参ります。

● ● ● ● ● ● ● ●

氏名：前村 香織

職名：副看護師長

20年表彰をうけて：たくさんの方々に支えられ20年間頑張ることができました。これからも患者に寄り添えるよう邁進してまいります。

● ● ● ● ● ● ● ●

氏名：草原 麻紀

職名：看護学校教員

20年表彰をうけて：NHOに就職し臨床で11年、看護学校教員となり9年多くのことを学ばせて頂きました。

これまで周囲の方々に支えて頂き続けることができました。感謝申し上げます。

これからも私に出来ることを頑張っていきたいと思います。



# 連携医療機関のご紹介

医療法人 倫生会

## 三州病院

住所：宮崎県都城市花線町 3 街区 14 号

電話番号：(0986) 22-0230

診療科目：消化器内科、循環器内科、消化器外科、肛門科、  
乳腺外科、整形外科、緩和ケア科、一般内科

専門外来：糖尿病、肝臓、緩和ケア、鼠径ヘルニア、アトピー

休診日：土曜日午後・日曜日・祝日



院長 新地 洋之 先生



当院は1988年5月、診断・治療（内視鏡・腹腔鏡・外科手術・化学療法）・病理部門を有する消化器・乳腺の専門病院として開院しました。現在、消化器・乳腺・肛門・高血圧・心疾患を中心に総合外来、整形外科・糖尿病・肝臓専門外来を行っています。

また、2000年5月に宮崎県で最初に緩和ケア病棟を併設し、急性期病床40床と合わせて67床で、初期のがん治療から終末期医療まで一貫して提供できる体制を完備しております。

私は2021年4月より当院院長に就任いたしました。1985年鹿児島大学医学部を卒業後、同大学第一外科（現在の消化器・乳腺甲状腺外科）に入局し、胃・大腸・肛門疾患、および胆石症・すい臓疾患の手術に携わって来ました。とくに胆石症やすい臓がんについては専門的に診断と治療（手術や抗がん剤、放射線治療）を行って来ました。

当院では、消化器（胃がん・大腸がん、ソケイヘルニア・胆石症・虫垂炎）を中心に手術と化学療法を積極的に行っております。そのほとんどを侵襲の少ない腹腔鏡手術で治療しております。

その他、痔疾患（内外痔核・脱肛）は症状に適した治療法（ジオン硬化療法・結紮切除術・

輪ゴム結紮術・PPH法）を選択しています。

乳がんは乳房温存 or 乳房切除＋センチネルリンパ節生検 or 腋窩郭清を行い、手術後の化学療法を組み合わせた集学的治療を積極的に行っています。詳細は当院ホームページをご参照頂ければ幸いです（<https://www.sanshu.org/>）。

手術以外にも、腹痛、下痢、便秘、食欲不振、膨満感、おう吐、胸やけ、胃もたれ、吐血・下血などの消化器症状を有する、イレウスや腸閉塞、胃炎、腸炎（感染性、虚血性）、憩室炎・出血、胃・十二指腸潰瘍、逆流性食道炎などの急性疾患なども積極的に入院を受け入れ、保存的な加療を行っております。いつでもお気軽にご紹介下さい。

今後も当院の専門外来である消化器、乳腺、ヘルニア、肛門疾患、心臓、高血圧や、緩和ケア・訪問看護ステーションを中心に、手術、化学療法を積極的に行ってまいります。

近隣病院や周辺施設との連携に力を入れ、質の高い医療とともに患者様に寄り添う医療を提供し、地域の方々に信頼される病院を目指して行きたいと思っております。

皆様のご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

## 看護の日

令和4年5月11日(水)

看護学校では「看護の心、感謝の心、助け合いの心」について改めて考えるために、看護の日の活動に取り組みました。今年は、都城医療センター地域医療連携部副部長 鳥丸章子看護師長より「地域・在宅看護の実際～対象・家族の生活・思い～」というテーマで特別講演を行っていただきました。

看護の対象は、地域で生活する生活者です。講演をとおして、退院後も病気と共に生活していく患者・家族の思いを理解することで、看護に何が求められているのか、自分たちに出来ることは何か考える機会となりました。



特別講演や3学年合同のグループワーク後は、学生から「退院支援は自宅でできるケアを教えるだけでなく、家に帰っても生活の質を落とさないためのシステムを作っておく必要があることが分かった」「患者と家族、両者の思いを尊重することの難しさを改めて感じた。どの選択をしたとしても間違いではないが、選択すること自体が大きいことだと思った」「グループワークでは同学年だけでなく、他学年の意見を聞くことで患者・家族の気持ちを考える良いきっかけになった。患者の個性を尊重して看護できるようになりたい」という意見があり、学びにつなげることができました。

## 相談支援センターがん専門相談員として配置されました。



相談対応の様子

しく病気のことが知れてよかった。治療に頑張ります」などの反応があり、自分自身の自信にもつながっています。

相談員として共に悩み、考えることで患者さん、家族の悩みが少しでも和らぎ、解決につながればと思います。今後も相談員としての知識や技術を深め、相談者の想いに寄り添い、日々の生活がより良く過ごせるよう支援していきたいと思っています。

令和4年4月より、がん専門相談員として活動をしている看護師の津曲久美枝です。

昨年は、相談支援センターで週1回患者さん、家族からの相談に対応し、経験を重ねてきました。対応する中で患者さん、家族の様々な思いに触れ、治療や人生の選択に悩み葛藤しながら生活している方が多いことを実感しました。患者さん、家族から「話をして気持ちが楽になりました」「くわ



〈がん専門相談員〉

MSW  
和田智美

看護師  
津曲久美枝

## 外来診療科別週間担当医当番表

独立行政法人  
国立病院機構 都城医療センター

【全診療科 初診予約制】受付時間 8:30 ~ 11:00

【2022年8月1日】

診療科名等		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科 <sup>※2</sup>	初診	血液	前田 宏一		佐藤 誠一	
		肝	加藤 順也			
	再診	前田 宏一 佐藤 誠一	前田 宏一 佐藤 誠一	前田 宏一 佐藤 誠一 高智 一徳	前田 宏一 佐藤 誠一 高智 一徳	前田 宏一 佐藤 誠一 高智 一徳
循環器内科	一般	剣田 昌伸	剣田 昌伸	剣田 昌伸	宮崎大学医師	剣田 昌伸
	特殊			心臓CT		
呼吸器内科	初診	白濱 知広	白濱 知広	白濱 知広	今津 善史	白濱 知広
	再診	今津 善史 白濱 知広	今津 善史 白濱 知広	今津 善史 白濱 知広	白濱 知広	今津 善史 白濱 知広
呼吸器外科	初診	手術日(午前)	加藤 文章	手術日	富田 雅樹	加藤 文章
	再診	加藤 文章(午後)	富田 雅樹	手術日	加藤 文章	加藤 文章
小児科	午前	1診	波種 真希	入江 慎二	小川 智香	大富 滉平
		1診	入江 慎二	波種 真希	大富 滉平	小川 智香
	午後	2診	小川 智香	波種 真希	大富 滉平	小川 智香
		3診			シナジス外来 (8月~3月)	
外科	初診	小森 宏之		小森 宏之		八木 泰佑
	再診	小森 宏之 八木 泰佑	手術日	酒匂 照生	手術日	八木 泰佑 八木 泰佑
	特殊	乳腺(小森宏之)		乳腺(小森宏之)		乳腺(小森宏之)
消化器病センター	初診	藤原 利成	駒田 直人	内視鏡検査・治療	駒田 直人	駒田 直人
	再診		駒田 直人			駒田 直人
	内視鏡	駒田 直人				藤原 利成
N S T 外来			駒田 直人 (第二・四火曜日 14:00~16:00)			
整形外科	初診		濱田 浩朗 吉川 教恵	手術日	濱田 浩朗 吉川 教恵	吉川 教恵
	再診	吉川 教恵	吉川 教恵		黒木 啓吾	吉川 教恵
	特殊検査	骨粗鬆症検査	骨粗鬆症検査	骨粗鬆症検査	骨粗鬆症検査	骨粗鬆症検査
リウマチ科 <sup>※2</sup>	初診	濱田 浩朗	濱田 浩朗	手術日	濱田 浩朗	濱田 浩朗
	再診	濱田 浩朗 吉川 教恵	濱田 浩朗 吉川 教恵		濱田 浩朗	濱田 浩朗 吉川 教恵
泌尿器科	1診	手術日	山崎 丈嗣	山崎 丈嗣	慶田 喜文	山崎 丈嗣
	2診			慶田 喜文		慶田 喜文
皮膚科			中山 文子 (9:30~13:00)		中山 文子 (9:30~13:00)	中山 文子 (9:30~13:00)
神経内科					杉山 崇史	
産婦人科	初診	後藤 裕磨	古田 賢	佐藤 謙成(午後)	宮崎大学医師	古田 祐美
	再診	後藤 裕磨 古田 祐美	古田 賢 後藤 裕磨	古田 賢 佐藤 謙成	宮崎大学医師	古田 祐美 佐藤 謙成
耳鼻咽喉科	一般	外山 勝浩 山本章裕	外山 勝浩 山本章裕	外山 勝浩 山本章裕	外山 勝浩 山本章裕	手術日
	難聴外来	山本章裕 (14:00~17:00)				
放射線科	放射線治療	新村 耕平	新村 耕平	新村 耕平	新村 耕平	新村 耕平
	画像診断	日野 祐一	日野 祐一	日野 祐一	日野 祐一	日野 祐一
歯科口腔外科	一般	田畑 雅俊 新西 久保	田畑 雅俊 新西 久保	田畑 雅俊 新西 久保	田畑 雅俊 新西 久保	手術日
	ペインクリニック					横山 幸三 (終日手術・外来不定期)
	障がい者歯科					森主 宜延 (月2回)
がんサポーター外来						岩崎 竜馬
緩和ケア外来						林 章敏 (第四金曜日)
特殊外来		マザークラス (第二土曜日・第四月曜日)	フットケア外来	リンパ浮腫外来 助産師相談室 (午後)	リンパ浮腫外来 P I C C 外来 (午後)	ストーマ外来(午後) 母乳外来 遺伝カウンセリング外来 (14:00~15:00)

※1 全診療科初診予約制となりますので、事前に診療FAX連絡票にてご連絡頂きますようお願いいたします。

※2 医療機関の方へ:血液内科、リウマチ科の初診については、事前に初診紹介予約申込書と共に、最新の血液データを送ってください。

【地域医療連携室・がん相談支援センター】フリーダイヤル (0120) 411-329 FAX (0986) 26-1893

独立行政法人  
国立病院機構

都城医療センター

(地域がん診療連携拠点病院・  
地域周産期母子医療センター)

〒885-0014 宮崎県都城市祝吉町5033番地1

TEL/0986-23-4111(代表) FAX/0986-24-3864

E-mail/621-miyakonojo@mail.hosp.go.jp http://www.nho-miyakon.jp

編集発行: 広報委員会